



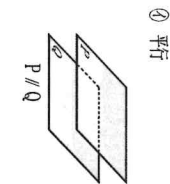
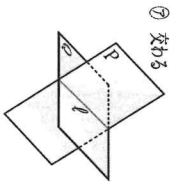
教科書 P178 ~ P181 を読み、下の をうめなさい。

学習のポイント



空間内にある2つの平面の位置関係は、

次の場合に分類できる。

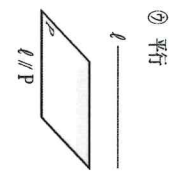
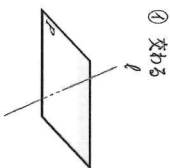
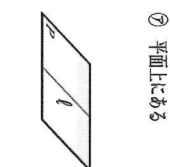


平面と平面が交わったところにある直線を **交線** という。

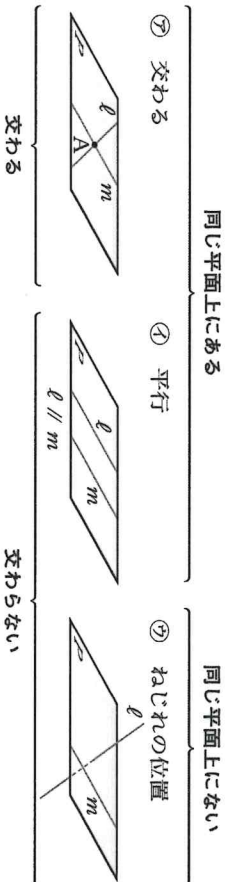


空間内にある平面と直線の位置関係は、

次の場合に分類できる。



空間内にある2つの直線の位置関係は、次の場合に分類できる。



空間内で、平行でなく交わらない2つの直線は **ねじれの位置** があるという。



教科書 P182 ~ P184 は読みましょう。

教科書 P185 ~ P187 を読み、下の をうめなさい。

学習のポイント

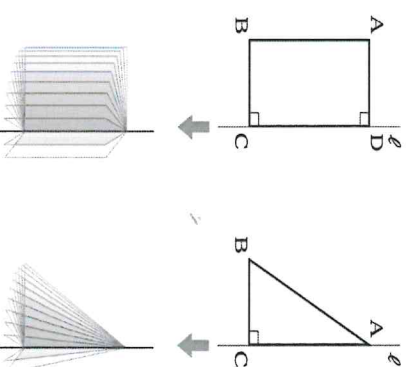
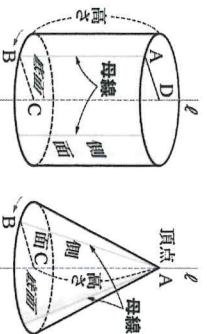
面の動き

角柱や円柱は、底面がそれと垂直な方向に動いてできた立体とも考えられる。底面の周の動いたあととは、その立体の側面であり、動いた距離が **高さ** である。



回転体

円柱や円錐は、それぞれ **長方形** や **直角三角形** を空間で回転させてできた立体と考えることができる。このとき、円柱や円錐の側面をえがく辺ABを円柱や円錐の **母線** という。



円柱や円錐のように、1つの直線を軸として

平面図形を回転させてできる立体を **回転体** という。

球 は、半円をその直径を軸として、

回転させてできた回転体である。

回転体を、回転の軸をふくむ平面で切ると、

その切り口は、回転の軸を対称の軸とする線対称な図形になる。

